



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2016 **6**



募金活動
(佐曾利消費生協)



支援物資の仕分け
(生活クラブ都市生活)



店舗支援
(コープこうべ)

4月14日に発生した熊本地震からまもなく2カ月。避難生活が長引くなか仮設住宅の建設も始まり、復旧復興をめざして徐々に歩みが進められています。発災後、兵庫県生協連会員生協では、被災地への支援隊の派遣や医療支援、緊急物資・支援物資の配送、募金活動など、さまざまな支援活動が継続して行なわれています。(関連ページP.4)



生活協同組合連合会
 コープ自然派事業連合 理事長
小泉 佳久
 (こいずみ・よしひさ)

コープ自然派2015年の 取り組みから学んだ今後の方向

2015年度生協を巡っては、象徴的な事例に出会いました。一つ目は安保関連法案、原発の再稼働、TPPに振り回された1年でした。特に安保関連法案に関しては、7月16日衆議院での強行採決に前後して全国の多くの生協から「強行採決反対」「安保法案反対」などの声明が出され、私たちコープ自然派も会員生協を中心に抗議の声を上げました。結果は原発再稼働、TPPを含め残念でしたが、息長く訴えていく必要があると考えています。

二つ目として、生協は2008年に起こった「中国製餃子毒物混入事件」でその信用を大きく毀損しました。以降、2011年3月11日の東日本大震災、生協による継続的支援活動により信用を取り戻しはじめ、2015年度においては、事業的にも将来への可能性を取り戻した1年でもありました。

生協事業が好調な理由の一つとして生協経営陣の世代交代も挙げられています。これまでの経営陣は概ね団塊世代が中心で理念から生協に関わってきた世代と言われ、新経営層はセンター長や店長を経験した世代で、決断の速さなどが専門誌等でも評価されています。

コープ自然派にとっては飛躍の可能性を確認した1年でもありました。これまで訴えてきた「日本の農業を守れ」「有

機農業を拡げよう」「遺伝子組み換え食品反対」等の主張に対しては、近頃やつと世の中との融和を感じています。欧米では日本とのJAS有機農産物・有機食品に関する同等条約も結ばれ、オーガニック食品の市場が大きく飛躍しています。日本においても地殻変動を予感しています。

8年ほど前より徳島県小松島市近郊でナベツルの飛来をめぐし、「環境保全型農業」と「冬水田んぼ」(冬期湛水)の拡大に取り組んできました。種子消毒など農薬使用の制限等の協力農家に対しては、「ツルを呼ぶお米」としてブランド化し、コープ自然派で直接購入してきました。又、5年前より「冬水田んぼ」に關し、組合員の協力で基金を募り、徐々にではありますが、2015年度は約400万円集まりました。基金を元に協力農家1反あたり3万円の環境支払いを実施し、その結果、当初数羽だったナベツルの飛来は2015年から2016年には約400羽を数えることができました。同時に兵庫県豊岡市からのコウノトリの飛来やペーリングも確認されるようになっていきます。これらのことでコープ自然派に対する行政の対応や地域住民にも変化が現れ、組合員が拡がる大きな力になっていることも事実です。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 「第94回国際協同組合デー・兵庫県記念大会」のご案内／単協通信 たじま医療生活協同組合 4. 熊本地震支援活動報告 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 8. 「広島被爆ピアノ平和コンサート」のご案内／県連日誌／編集後記 |
|--|---|

楽しい暮らしをデザインしよう

～第94回国際協同組合デー・兵庫県記念大会～のご案内～

国際協同組合デーは、世界中の生協や農協、漁協、森林組合など協同組合にたずさわる人々が心をひとつにしてその発展を願って祝う日です。兵庫県では毎年7月の第1金曜日に各協同組合の関係者が集まって記念大会を開催しています。

今年は7月1日(金)、兵庫県民会館において「協同(人のつながり)の力で地域の課題を解決しよう！」をテーマに兵庫県記念大会を開催します。ご参加お待ちしております。

- と き：2016年7月1日(金) 13:30-16:00
- と ころ：兵庫県民会館9階 けんみんホール(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- 内 容：I部 記念式典
II部 記念講演

「協同(人のつながり)の力で 地域の課題を解決しよう！」 ～兵庫の協同組合に期待しています～」

講師 studio-L代表 山崎 亮氏

- 参加人数：350人(入場無料・先着順) *事前にお申し込みください。
- 主 催：兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC:兵庫県生活協同組合連合会・兵庫県農業協同組合中央会・兵庫県漁業協同組合連合会・兵庫県森林組合連合会)
- お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会
電話：078-391-8634 FAX：078-392-2059



〈プロフィール〉

山崎 亮(やまざきりょう)

studio-L代表。東北芸術工科大学教授(コミュニティデザイン学科長)。慶応義塾大学特別招聘教授。1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。「海士町総合振興計画」「studio-L 伊賀事務所」「しまのわ2014」でグッドデザイン賞などを受賞。著書に『コミュニティデザイン(学芸出版社:不動産協会賞受賞)』『コミュニティデザインの時代(中公新書)』などがある。

単協通信

たじま医療生活協同組合

減塩で健康に

4月28日(木)ろっぼう診療所近くの
新田地区公民館で「減塩料理教室」
を行いました。健康チャレンジス
タート集会のこの企画に、21人が参
加しました。

管理栄養士の指導のもと、10人ず
つに分かれて「豚薄切り肉の野菜巻
き」「ブロッコリーのあんかけ」「豆
腐入りだんご」を作りました。手狭
なテーブルでの調理でしたが、それ
ぞれ分担して手際よく進めました。

豚肉の野菜巻きにはかぼちゃ、パ
プリカ、ピーマン、えのきと、色と
りどりの野菜がたくさん入り、見た
目にも鮮やかでした。ブロッコリー
のあんかけは、生姜がよくきいてい
ました。

団子は白玉
粉に豆腐を混
ぜたものでし
たが、豆腐が
入っていると
は思えない食
感でした。

「こんなにお



できあがった料理



手際よく調理

おいしいのに塩分控えめとは思えない」
「簡単だから、すぐに作れそう」と
いった感想が聞かれました。

日本医療福祉生協連は1日の塩分
摂取量を6g未満にする「すこしお
生活」をすすめています。少ない調
味料でおいしく食べる工夫をして、
健康的な食生活を心がけます。

(通信員 春木 圭介)

被災地を支える仲間 ～熊本地震支援活動報告～

このたびの熊本地震により被災されました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。兵協連の会員生協では、発災後ただちに職員を派遣し、緊急物資や支援物資の配送、医療支援や避難所での体操指導、産地生産者の集荷作業支援、店舗支援、炊き出し支援や募金活動などが行われました。今後も、被災地の復旧復興、被災された皆さまの一日も早い暮らしの再建にお役立ちできるよう、継続した支援活動に取り組んでまいります。

佐曾利消費生活協同組合



佐曾利消費生活協同組合ではレジスター横に募金箱を設けております。

職員お手製の気持ちの詰まった募金箱です。お母さまと一緒に来店された小さな組合員様が「ここにお金入れたらええの？」と駄菓子を買ったおつりを入れてくださったり「泥ついでるけど…」と農作業の合間に来られたおっちゃんが入れてくださったり。

熊本の皆さんに送る義援金ですが、職員としてお店に立たせていただいているこちらも本当にたくさんの方の元気をいただきます。

人を思う気持ち…何よりも大切にしていきたいものです。

(通信員 中村 梓)

生活協同組合コープこうべ



生活協同組合コープこうべでは、4月17日から緊急募金を開始。22日には「ハート基金（コープこうべ災害緊急支援基金）」から、被災地のボランティアセンター運営のために100万円を拠出しました。

また、4月24日から5月中旬まで「生活協同組合くまもと」に職員を交代で派遣。店舗チームは、天井が落下するなどの被害で売り場の2/3が立ち入り禁止になったコープ春日（熊本市西区）に支援に入り、商品棚の清掃や品出し、レジ応援などを行いました。

(通信員 榊原 晶子)

生活協同組合コープ自然派兵庫



熊本にはコープ自然派の有機野菜を供給する生産者グループがありますが、自宅損壊による避難生活等によってできなくなった収穫や集荷作業の支援活動や、地震による土砂崩れによって遮断された畑に通じる道路の確保作業、ハウスの修理などを、コープ自然派事業連合及び、各会員生協の職員が地震発生直後から交替で現地に入っています。

コープ自然派兵庫のセンター長2名も第4次支援隊に加わりました。また、組合員への募金活動も併せて実施、多くの支援を頂きました。

(通信員 前田 陽一)

生活クラブ生活協同組合都市生活



避難所での炊き出しをお手伝いしました

車中泊避難者がいるであろう場所を地図にマークする作業



生活クラブ生活協同組合都市生活では、「ここをつなぐよか隊ネット」に合流して、避難所で炊き出しや駐車場で車中泊している避難者の実態調査を行いました。学校や公民館などの避難所には行政が名簿を作って人数の把握をしていますが、公園などで車やテントに避難している被災者の実態は把握できていません。生協職員は地元NPO団体を中心に毎晩市内を歩き回り、車中泊避難者に聞き取り調査をし、熊本市長と熊本県知事宛てに実態の報告と緊急提言を行いました。

(通信員 紺本 直)



尼崎医療生活協同組合



尼崎医療生活協同組合では、2016年4月14日に発生した熊本地震災害への支援活動として、4月19日から5月17日の間に職員9名を派遣しました。

兵庫民医連を通じて7名（医師・看護師・事務）、別途で社会福祉協議会を通じて2名（社会福祉士）です。

現地では、被災して屋外や車中泊の方に疲労やストレスがみられ、避難所ではとくに介護高齢者や小さい子どもにとって生活し難い状況が続いています。5月に入ってから、食事等支援物資が充足している反面、がれき撤去ほか、地域住民への生活支援ニーズが高まっています。特に高齢者や障害を持った人たちへの生活支援が求められており、避難所が閉所した後の住処をどのように確保するのか、住宅問題も出てきています。今後も生活支援活動に医療生協として積極的に関わっていきます。

（通信員 杉山 貴士）

神戸医療生活協同組合



神戸医療生活協同組合では、4月21日を皮切りに、延べ46日、7名の職員を現地支援活動に送り出しました。また、義捐金は100万円を超えて寄せられ、515,000円を義捐金として現地の団体へ送金しました。直下型地震はピンポイントでの被害が大きいのが特徴で、日ごとに現地の状況が変わり、支援活動の中心は「医療活動を継続させること」「組合員を守ること」「職員を守ること」の3点を中心に行っています。震災から3週間が経過した中で、支援に参加したスタッフからは、現地に対応する職員の疲労のサポートや、被災者への心のケアが急速に高まっていることが伺えます。今後も引き続き、継続した支援活動に取り組みます。

（通信員 堤 茂）

近畿労働金庫兵庫地区統括本部



5月20日（金）、近畿ろうきん肥後橋ビルにて、《緊急集会》「熊本地震」支援活動の現状と課題～発災から1ヵ月、関西からの支援を考える～を開催し、NPO・生協・社協・労働組合・企業・学生など幅広い分野から約80名が集いました。地震発生直後より現地支援に入っている団体からの報告を受け、現地に入っている団体とはSkypeで通信を取りながら、熱心な意見交換の中で、被災地の現状や支援活動の問題・課題を共有し、より良い支援のあり方とともに考える契機となりました。

（通信員 井奥 眞貴子）

兵庫労働共済生活協同組合（全労済）



現場調査後の共済金支払作業の様子（全労済 熊本県本部）

このたびの熊本地震により、被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。組合員からの被災連絡は15,198件、うち現場調査が必要な事案は12,400件あり、8,459件は現場調査を完了しています（5月26日13時時点）。全労済では被害を受けられた組合員に一刻も早く共済金をお支払いするため、4月27日より全国から現場調査要員の派遣を開始し、兵庫県本部においても5月11日から現場調査要員を派遣しています。

（通信員 中川 純一）

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

～JA兵庫六甲 パスカルさんだ一番館内に～ 「漁連の魚屋 とれびちひょうご」グランドオープン!

4月2日(土)、JA兵庫六甲「パスカルさんだ一番館」内にJF兵庫漁連の直売所「漁連の魚屋 とれびちひょうご」がグランドオープンしました。

オープニングセレモニーではJA兵庫六甲 北畑親昭代表理事組合長、三田・野菜産直の会 大西則和会長に続き、JF兵庫漁連山田 隆義会長が、「消費者に本当に美味しいものを届けることが食料産業の責任であり、JAとJFが協力すればそれが可能である」と挨拶をしました。この後、来賓の三田市 森哲男市長、県阪神農業改良普及センター 鍋谷 敏明所長の挨拶に続いて、JA兵庫六甲のイメージキャラクター「ろくちゃん」、三田市のイメージキャラクター「キッピー」、イカナゴのイメージキャラクター「新子ちゃん」も交えた鏡開きが行われました。



この日は、グランドオープンとあって約2,000人の来店者があり、開店と同時に売り場は大いに賑わい、好調な滑り出しとなりました。また「新仔ちゃん」とのじゃんけん大会には、たくさんの参加者で大いに盛り上がり、会場は終始笑顔が絶えないオープンとなりました。

この日の好調なスタートを切ることができた「漁連の魚屋 とれびちひょうご」が、これからも長く地域の皆様に愛される店舗となるよう、関係者一同、努力してまいります。



3体のキャラクターも交えての鏡開き



多くの来店者で賑わいました!

JA

JA グループ兵庫

「JA チャンネル兵庫」 JA 元町駅で運用開始

JA全農兵庫は4月21日(木)、「JAチャンネル兵庫」の運用を開始しました。JA・連合会と協力し、JR元町駅東口高架通2階に設置したJAグループ兵庫専用の大型LEDビジョン(幅5.7m、高さ2.8mの大型ディスプレイ)で、県産農畜産物の魅力やJAグループ兵庫の取り組みを紹介する動画を放映し、県内農業とそれを支えるJAへの理解を広く消費者に求める取り組みです。下部には電光掲示板を設け、イベント等をお知らせします。

運用開始日には、曾輪佳彦県本部長のあいさつに続いて関係者一同によるカウントダウンが行われ、かけ声にあわせて画面に「START!」の文字が映し出されると、周囲からは大きな拍手が起きました。

セレモニー後は駅前広場で、新鮮な野菜や米、菓子などJAグループ兵庫の特産農産物・加工品を配り、道行く人々にPRしました。

JAチャンネル兵庫は、県内JA・連合会の紹介動画等に加え、今後は個々の農畜産物をテーマにした動画も順次制作、放映する予定です。



JAグループ兵庫の特産農産物・加工品を配り、道行く人々にPR



最近の消費生活相談事例

電池の液漏れに注意

事例

電子辞書に入れていたアルカリ乾電池（単4形、公称電圧1.5ボルト）2本のうち、1本から液漏れしているのに気が付いた。乾電池の液漏れで電子辞書が使えなくなったが、乾電池に問題はないか。

【アドバイス】

アルカリ乾電池2本のうち1本は外側のフィルムが剥がれ、負極（マイナス極）付近に液体が付着した痕跡がありました。また、電子辞書の電池ケース内にも、電極に白い結晶が付着していました。検査すると、フィルムが剥がれた乾電池の電圧は1.0ボルト未満でした。微弱な電流が流れ続ける「過放電」により乾電池の安全弁が動作した結果、乾電池内部から電解液が漏れた（液漏れを生じた）と考えられます。

乾電池の安全弁とは、乾電池の過放電や逆装てんによる充電等が原因で、乾電池の内圧が極度に上昇した場合に、その原因となるガスを乾電池の外部へ放出するための弁のことで、乾電池の破裂を防止する働きがあります。ただし、弁が開いた際に、ガスとともに電解液も外部に漏れます。

乾電池を使用・保管する際は、次の点に注意しましょう。

- ①乾電池を使い切ったら早めに取り出しましょう。乾電池が過放電し液漏れする場合があります。
- ②乾電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いた場合は、水で洗い流しましょう。万が一、目に入ると、失明等の危険があるので、多量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ③乾電池をアクセサリやヘアピン、鍵等の金属製品と一緒に保管しないようにしましょう。金属製品で正極（プラス極）と負極（マイナス極）が繋がると、短絡（ショート）が発生し、乾電池が異常に発熱し危険です。
- ④乾電池を機器に装てんするときは、正極（プラス極）と負極（マイナス極）の向きが正しいかよく確認しましょう。誤った方向で装てんすると、液漏れや発熱、破裂等の危険があります。

（兵庫県生活科学総合センター）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

蒸し暑い季節がやってきましたね。私の利用する駅の高架には、毎年、つばめが帰ってきます。今年も巣をつくり、雛が生まれています。その雛も、いつの間にか、大きくなり、今では、道行く人のあいを縫って飛び回っています。もうすぐ、また旅に出るのだろうか、そんなことをふと考えてしまいます。

さて、今月も差止請求のお話です。4月1日に(株)ベルカディアに、消費者契約法第41条に基づく請求書を送付しました。(株)ベルカディアは、アウトドア用品のモンベルのグループ会社で、「モンベルアウトドアチャレンジ」という名称で旅行を企画運営しています。この旅行の参加チケットには「全て自己責任とします」という条項があり、参加者はこれに署名を求められていました。この参加チケットは、旅行の申込後、出発前に参加者に届きます。署名が嫌だと思ってキャンセルしようと思っても、既に旅行代金全額のキャンセル料がかかってしまう時期なのです。これについて、これまで改善の申し入れや質問を行ってきました。このたび、訴訟をする一歩手前の手続きを踏んだのです。

これに対して、(株)ベルカディアは期限内に回答し、そのような参加チケットは、現在、使用していないと回答しています。現在も進行中のことですので、進展がありましたら、またお話することになります。それではまた。

（ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記）

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

MOVE

ピースアクション2016

広島被爆ピアノ 平和コンサート

2016年8月7日(日)

13時開場 / 13時30分開演

レバンテホール(神戸市立垂水勤労市民センター)

神戸市垂水区日向1丁目5番1号(レバンテ垂水2番館3・4階)

TEL/078-708-8901

原爆の爆風で傷つきながらも永い歳月を乗り越えた「被爆ピアノ」が平和を奏でるコンサートを開催します。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

出演予定

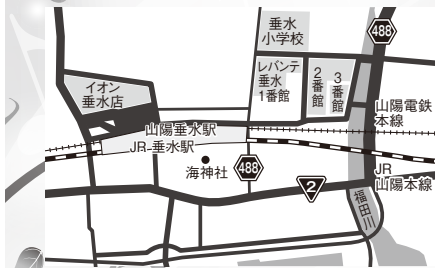
ピアノ
森須 奏絵

ソプラノ
大島 久美子

矢川 光則
(矢川ピアノ工房)

入場無料
(事前のお申し込みが必要です)

先着500名様



■ JR/山陽電鉄 垂水駅 北東へ徒歩3分

主な演奏曲

- 朗読「岩田家の被爆ピアノ物語」
～わたしはピアノ
- さとうきび畑
- ありがとう
- いのちの理由 など

お申込み方法

「お名前・年齢」「〒(郵便番号)・ご住所」「電話番号」「ご同伴者(4名まで)のお名前・年齢」「ご利用の生協名」を明記のうえ、【ハガキ】【FAX】【メール】にて、以下の方法にてご応募ください。

申込先

〒650-0011
神戸市中央区下山手通4丁目16-3 県民会館4階
兵庫県生活協同組合連合会
「広島被爆ピアノ平和コンサート」係 まで

FAX 078-392-2059

メール hyogo@kobe.coop.or.jp 〓お子様も一緒にご参加いただけます。

〓お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 078-391-8634

定員500名に
達し次第、
締め切ります。
ご参加いただけない
場合のみご連絡させて
いただきます

広島被爆ピアノプロフィール

ヤマハ
アップライトピアノ
(岩田家のピアノ)
♪製造：大正9年
♪形状：85鍵 象牙鍵盤 ♪高さ：130cm
広島市中区舟入町
原爆投下時、爆心地より1.5kmで被爆
元の持ち主とピアノが自宅にて同時被爆
平成26年4月。所有者(岩田さん)より、ピアノ
調律師・矢川光則さん(広島市)に託される。

主催：兵庫県生活協同組合連合会 後援：神戸市教育委員会・神戸新聞社

編集後記

駅から事務所向かう坂道の途中の中学校。4月には、少しブカブカの制服に身を包み、ちよつと不安げだった一年生も2カ月経ち、仲間と笑顔で登校しているのを見ると、心の中で「ガンバレ」と思いながら、毎朝すれちがっています。☆先日、高校を卒業して十一年。初めての同窓会に参加しました。なんとなく面影が残る人や、なぜか18歳の時の雰囲気そのままの人、すっかり変身(?)しちゃった人(……私もそう思われてない?)といひんですが……汗)など、先生のあだ名や思い出話で盛り上がりました。クラブ活動をしているわけでもないのに1日5食くらい食べていた日々。制服のうしろ姿は、着ぐるみ。だったかもしれませぬ……。(中尾)



県連日誌

6月6日(月) 兵協連第7回理事会
(県民会館 1201)
6月23日(木) 兵協連第66回通常総会・第1回理事会
(県民会館 パルテホール)